

令和7年度指定管理業務に関する事業報告書（地域包括支援センター）

センター名 西院地域包括支援センター

1 施設の管理運営

【開所日及び開所時間等】

月～日 午前8時30分から午後5時30分

緊急時には担当者に連絡できる体制をとっています。

【事業実施地域】

右京区 安井、山ノ内、西院第一、西院第二学区

2 事業実施内容

- ・委託機関として公正・中立性の高い事業運営を確保しています。
- ・介護サービス利用に際しては、利用者や家族が自己選択・自己決定できるように、情報提供を行い、サポートしています。
- ・学区の成り立ち、年齢別構成割合等、地域の特性を考慮しながら、地域の各種関係機関と協力・連携し地域の問題解決にあたっています。
- ・年2回程度機関紙を発行し地域への情報発信を行っています。
- ・虐待が疑われるようなケースが発生した場合、相談協力員を通して、もしくは近隣住民からセンターへ情報を伝えてもらえるように働きかけを行っています。虐待対象者本人の支援とともに虐待防止へ向けての家族への支援も重要であるとの認識から、早急に関係機関へのつながりも行っています。
- ・介護支援専門員の後方支援の一環として、学習会・交流会・事例検討会を実施すると共に、個別ケースの相談を受け、スーパービジョンや後方支援を行っています。
- ・介護予防推進センターや、地域の民生委員・老人福祉員、学区社会福祉協議会や老人クラブと協力して介護予防についての普及・啓発を行っています。
- ・当施設が開催している「おいでやす食堂」は対面で再開し、高齢者が子どもたちに交流できる場として活動を継続しています。

3 サービス提供状況

主任介護支援専門員 2名 保健師等 2名 社会福祉士 3名 体制強化職員 1名
介護支援専門員 5名

4 市内中小企業への発注に対する考え方

市内中小企業に事業を委託する場合や物品購入をする場合、以下の考え方に従って業者選定をしています。

- （1）業務内容が専門的な知識を必要とし、かつ施設内の職員では対応が困難な業務の場合。
- （2）法人が専門的に行う業務ではないため、専門に行う業者のほうがより効率的に、かつ質の高いものを提供できると判断できる場合。
- （3）業務内容は簡易であるが、行う人材を集めることが容易でない場合、その業務を行える人材を集めることに特化した業者がある場合。
- （4）備品購入等の発注については、市内の業者を優先して活用しています。また、地産地消の考え方から、より身近な地域の商店や企業からの購入をし、他の面でも日常的な連携が図れるようにしています。

5 施設の利用状況（施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

（1）介護予防支援給付対象者数（実績値）

7047 人

（2）相談延べ件数（実績値）

1300 件

(3) 収支実績

ア 令和7年度収入状況（単位：円）

委託料	36,980,500
介護保険収入	34,908,566
その他	2,409,509
収入計	74,298,575

イ 令和7年度支出状況（単位：円）

人件費	64,073,762
事業費	5,161,178
委託費	4,567,168
小額修繕費	9,198
その他	5,687,128
支出計	79,498,434

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

訪問時に各ご利用者向けのアンケートを実施し、結果を把握した。

(2) 利用者満足度把握の結果

- ・相談しやすいケアマネジャーさんなので有難いです。
- ・デイサービスに行くようになり楽しみができました。
- ・担当ケアマネジャーが電話しても訪問などで留守の場合が多いので困る。

(3) 意見等への主な対応状況

職員が訪問に出る際、事務所が留守になることも多く、留守番電話対応となっている。できるだけ迅速に折り返しの連絡を入れるよう対応している。

7 その他特記事項

7 評価（指定管理者自己評価）

給付管理件数の目標値は大きく達成している。特に専門職と体制強化職員の担当件数がオーバーしているため、整理が必要である。13名体制になることから、担当件数の見直しを実施していきたい。

地域ケア会議の充実を図りたいと思うが、4学区への名簿の突合せを実施することで精一杯となった。来年度の居場所カフェの充実のため、コアメンバーを中心とした会議を定期開催している。定例化していた講師についても見直しを図り、新たな参加者を検討していき、内容の更新を検討している。

年度末には日常生活圏域地域ケア会議を開催した。（京都先端科学大学にて）まごころさぽーとの方に講師依頼し、「社会的処方」をテーマとしたグループワークを実践でき、大変好評を得た。反省点としては、圏域の居宅介護支援事業所を対象とした、企画を実施することができなかった。

給付管理件数の増加に伴って、地域支援事業の充実にも時間を割いて行きたいが、新規相談の対応や虐待ケースの対応に追われているのが現状。令和8年度は、地域支援事業の充実（まったり倶楽部西院の内容更新）、ケア会議（個別、学区）の充実を図っていきたい。